



本願寺春秋 第12号
令和5年1月1日刊
京都市山科区上花山旭山町8-1
東山浄苑東本願寺
TEL 075-541-8391(代)
FAX 075-531-1663
発行責任者
本願寺春秋編集委員

創建五十周年記念

浄苑最上、最高の納骨壇・信楽壇

神佛習合のみ教に結縁 永久の安らぎを

極楽浄土を想起 信楽堂

嘉枝堂地下三階に信楽壇専用の特別な御堂・信楽堂を建立しました。檜造りの清楚な扉を開けると、そこにはおごそかな照明と内装、神佛習合のみ教に包まれた、まさに極楽浄土を想起させる荘厳な世界が広がります。

信楽堂納骨者だけの

日本初・神佛習合の礼拝所(御荘厳)

威容を誇る信楽壇納骨者専用の礼拝所(御荘厳)は、本邦初となる神佛習合のみ教の結晶で、信楽壇の納骨者だけが参詣できます。



日本初・神佛習合の礼拝所(御荘厳)



信楽壇納骨者の為、毎朝には伝統ある本願寺の法式に則った勤行(晨朝)、春秋彼岸、盂蘭盆会、報恩講、修正会等、各年中佛事も勤まり、お念佛の声が高らかに各信楽壇へ届きます。

真の佛弟子としての歩みを

法統継承之証

割当時に授与される法統継承之証には、釈尊、天照大御神から御法主台下まで連綿と続く神佛習合の法統の末流に連なる証として、信楽壇納骨者とその家族の俗名、法名が、御法主台下のお許しを得て、一人ずつ特別に本願寺の御連枝によって揮毫されます。

これにより、蓮如上人が「足手ヲハコビ」報恩謝徳ノ懇志ヲハコブ」と仰せられた如く、少なくとも一年に一度は浄苑に参詣して懇志を運び、神佛や先祖への感恩の惟いに包まれる真の佛弟子として歩み始めてください。

- 信楽壇のご案内
- 御法主台下のご活動紹介
- 春彼岸会のご案内
- 花まつりのご案内

- 1 ページ
- 2 ページ
- 2 ページ

- 孟蘭盆会のご案内
- 東山浄苑読経お扱いのご案内
- ご葬儀、ご自宅等での法要のご案内
- 無料送迎バスのご案内

- 3 ページ
- 3 ページ
- 3 ページ
- 4 ページ

大谷暢順台下に外務大臣表彰



日仏文化交流の功績で外務大臣より表彰
令和4年8月10日 外務省講堂にて林芳正外務大臣から表彰を受ける台下

蓮如上人は、「本尊は掛け破れ」と仰せになるとともに数限りない程の御名号を門徒に下附されました。これによって御名号が各家庭に奉安され、我国初の家庭佛壇となつて、日本佛教は革新的な発展を遂げることとなります。そして、何よりも多くの日本人の人生はみ佛とともにある、感恩の惟いと喜びに満ち溢れたものとなったのです。

日本とフランスの文化

交流に多大な足跡を残したとして、大谷暢順本願寺御法主台下(当財団理事長)が令和4年8月10日、林芳正外務大臣から外務大臣表彰を受けました。同表彰は、国際関係分野で活躍し、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をした個人、団体を称えるもので、一人者でもあります。

また、フランス語による多数の著書のほか、パリのユネスコ総本部、ギメ美術館、パリ市第4区役所、パリ大学等でのフランス語講演、仏国放送TV番組出演等、日仏両国で文化昂揚に努めてきました。

本願寺 御法主台下のご活動

名取裕子氏と対談

令和4年8月、女優・名取裕子氏が来苑され、「神佛習合」をテーマに台下と対談されました。詳細は会報誌「ジヤポニスム」をご覧ください。

アメリカ総領事参拝

令和4年11月12日(土)、在大阪・神戸米国総領事リチャード・メイ・ジュニア氏、サントリーホールディングス株式会社鳥井夫妻等が当苑を公式参拝され、仏教を基にした日米の交流が行われました。

メイ総領事は、御法主台下のご案内の元、嘉枝堂本堂参拝の後、信楽堂を参拝。

仏のみ教えや日本人の根底にある神佛習合の教えに触れられ、終始感銘を受けられた様子でした。

報恩講参詣団

令和4年度御正忌報恩講・現如上人百回御遠忌法要に北海道・東北教区から団体参詣として、東本願寺末寺 結願寺(宮城県富谷市) 住職・

日本と日本人の明日のために

本願寺法主 大谷暢順台下最新刊 好評発売中!



産経新聞出版刊
1,430円(税込)
通信販売も承っております

*送料、振込手数料はご購入者様のご負担となります
詳しくは東山浄苑東本願寺 書籍係へお気軽にお問い合わせ下さい
☎075-541-8391



公式ホームページ⇒
他にも多くの書籍をご紹介します



メイ総領事へ信楽堂参拝を案内する台下